

(1)

会報

緑のまち

第22号 平成10年10月26日

発行 財団法人 日野市環境緑化協会

〒191-0016 東京都日野市神明2-13-1
電話 042(585)4740



(平成9年度 みどりの写真展応募作品より)

ここ、多摩平第1緑地の木立ちの間を吹き抜ける風に、ふと寒さを覚える季節になりました。

枯れ葉を踏む園児たちのかわいい足音に、秋のリズムが感じられる穏やかなひとときです。園児の、遠くを見詰める瞳と、手に持つ袋の中は、夏の思い出と冬への期待でいっぱいでしょうか。

平成9年度事業報告・収支決算

1. 緑化推進に関する普及啓発事業

- 緑化月間事業（春4事業・秋4事業実施）
- 会報（2回発行） ○ 作文集（1,121部作成）
- 緑の募金運動（募金総額3,001,139円）
- 園芸講習会の開催（9講座・14回開催）



子どもは虫の研究者

2. 緑化推進に関する事業活動

- 公共施設プランター等への花卉植付（年4回）
- 幼保園児及び老人クラブ会員によるチューリップの植付（124名・1,830球）



おじいちゃんと園児の球根植え

3. 緑化推進に関する調査研究

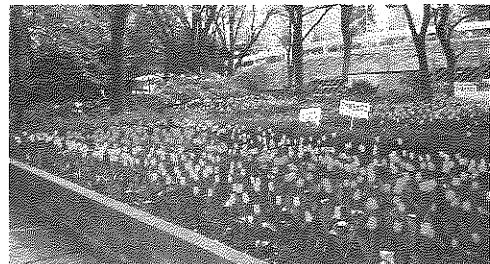
- 緑化に関するアンケート調査（調査対象500人・回答者290人）



自然観察会（山王下公園）

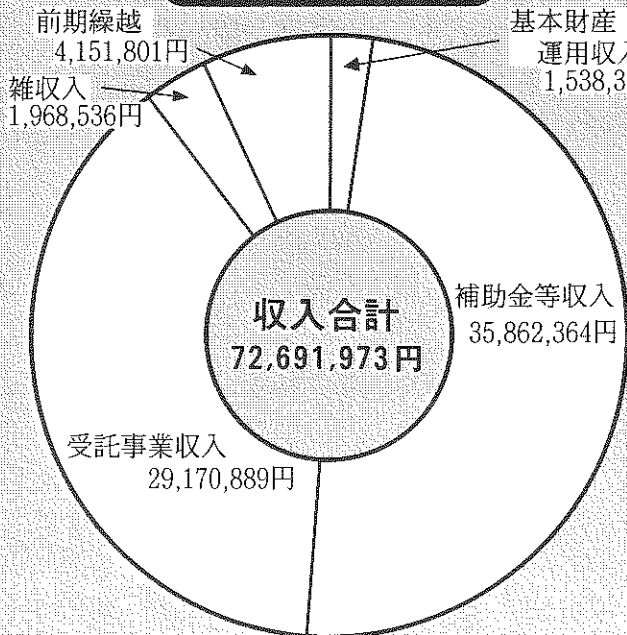
4. 受託事業

- 菊花栽培事業（30,292本配布）
- 花卉植付事業（グリーンベルト花壇等）
- 公園清掃等管理事業（90公園）

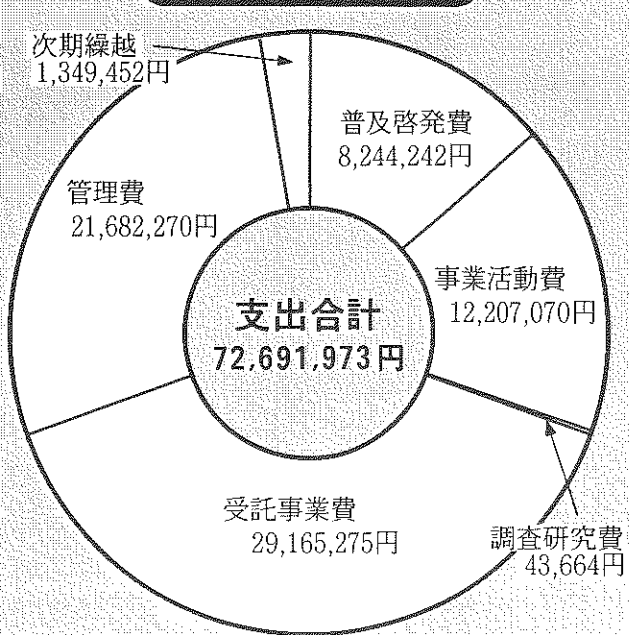


公園高幡団地73号棟前

収入の部



支出の部



環境に共生する住宅

昭和27年建築の木造平屋建て35戸の区宮住宅が、平成9年3月「世田谷区深沢環境共生住宅」に建て替えられた。敷地約7,400㎡、鉄筋コンクリート造り、5棟、70戸の団地で、北斜面の凸凹を残した地形の上に建てていた。今年7月当地を視察した。

地域環境・地球環境

団地内の歩道も駐車場も粗めの砂利のような物で、浸水性舗装がされ、雨水が地面に浸透するようになっていて、浸透した水が、地温を下げ、地域の気候をしのぎやすくしている。

建物は団地というよりは、個人の1戸建てが5棟バラバラに建っているという感じで、それが、かえってゆったりとした気持ちにさせる。

この地域の気候は、夏は涼しい南風が吹くので風の道ができるよう、路地を開けるように建物が並び、風が抜けている。建物の北側には「風光ボイド」と呼ぶ中庭を設け、北側でも明るく風が吹き抜けて行く。

建物の外壁に金具を取り付けて、藤などのツルがよじ登れるようにして、壁面を緑化している。強い西日から壁があたたまるのを防いでいる。これと平行して、建物には25mmの断熱材が使用されている。バルコニーに庇が多く取り付けられ、夏の強い日差しを

防ぐようにしている。

それぞれの棟の屋上には野芝が植えられ屋上の緑化がされている。

屋上に乗せられたソーラーコレクターで太陽熱の利用が図られ、1階の在宅サービスセンターの床暖房や給湯を賄っている。昨年一夏のクーラー使用時間2時間。

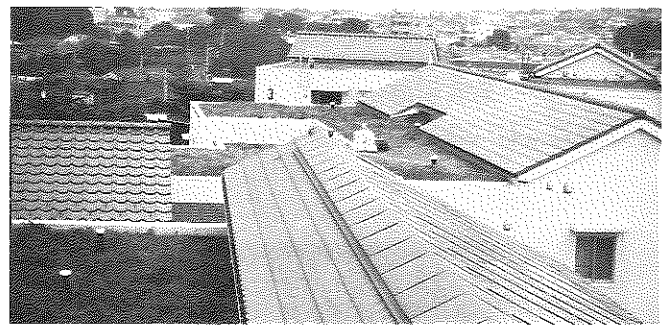
11か所ある街灯も太陽光発電のソーラーシステムで点灯している。

また、屋上に降った雨は、パイプを通して各戸のバルコニーの10ℓのタンクに送られ、植木の水やりや防火用に使われる。団地の地下タンクにためた雨水はトイレに使用されている。

生きもの

団地の中心に小さな池がこさえてあり、その池の周囲を生き物が生息できるようにと植物が植えられている。池の水が蒸発するので、補給のため、池の上にある古井戸から水を流している。

下池に溜まった水を、屋上



屋上緑化とソーラーコレクター

や水とのつながりの中に見て、トンボ、シジュウカラなどの生きものが、行き来できるようにと想定して団地の緑が造られている。

思い出は宝

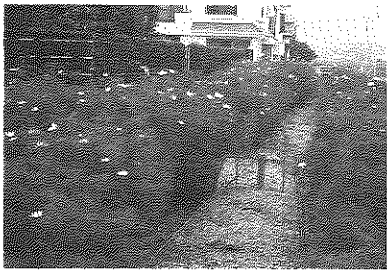
今まであった物を、全くの更地にしたところに、この団地を作ったわけではない。

傾斜のある地形もそのまま生かし、古い巨木も17本残している。使っていた古井戸も残し、子どもの遊びや植木の水やりに使っている。

住民が育てていた菜園、花畑の土も、肥沃な土壌ということで、いったん保存したものを再度使っている。

「思い出は宝」、まるっきりの新規で、住む人の思いが分断されたように建築するのではなく、人の思いを大事にして、そのまま引きつぐような形で団地が建てられている。

団地の周りの花壇でもないところにも草花が植えられている。一見、雑然と見える場所にも季節の花が咲いている。人も生きものも、気持ちよく住める環境こそ価値ある環境である。



ふれあい橋北側のコスモス

コスモス・アベニュー

日野市制35周年記念事業として、みんなで蒔いたコスモスの種が大きく育ち花が咲きました。秋の一日みんなでお出かけになりませんか。

ご参加ください。

期間 平成10年10月28日
～12月4日

くらしに花とうるおいを!

主催 日野市
(財)日野市環境緑化協会

公園及び地域清掃の日

11月29日(日) 午前9時～正午
公園、緑地、広場等市内全域

- ★自治会、老人クラブ、子ども会等の皆様のご協力により、市内全域で一斉に清掃を行います。
- 当日はそれぞれのリーダーの指示に従ってください。

生け垣講習会

11月12日(木) 午後1時30分～午後4時
会場：(財)日野市環境緑化協会(日野中央公園南側)

- ★生け垣は、街の表情を和らげてくれるとともに、災害対策の上からも見直されています。
- 専門家が実技指導とともに、生け垣樹種の紹介と手入れ法について、わかりやすく説明します。
- 定員 先着 30人
- 講師 日野緑進会会員
- 申込み 電話で 緑と清流課 ☎585-1111 内線 392

みどりの写真展

11月19日(木)～12月4日(金)(土、日、祝日は除く)
午前8時30分～午後5時 市役所1階市民ホール

- ★市内のいろいろな緑が見られる写真展です。
- テーマ1「日野の四季」は市内の緑や緑のある生活風景等です。
日野の自然がみせる四季折々の姿を展示します。
- テーマ2「わが家のみどり」
「わが家では、こんなにきれいに咲きました。」「ちょっと記念に1枚」など、身近な緑の写真を展示します。
- 11月6日(金)まで作品を募集しています。出品については、8面の別掲載の記事をご覧ください。

正月の寄せ植え講習会

12月3日(木)・4日(金) 午前10時～正午
午後2時～4時
会場：(財)日野市環境緑化協会(日野中央公園南側)

- ★「正月の寄せ植え」講習会を行います。
- 松竹梅でお正月を迎えませんか。この講習会では材料も用意しますので、あなたのセンスで、素晴らしい寄せ植えを作ってください。
- 定員 3日、4日ともに午前25人、午後25人(申込み多数の場合は抽選)
- 講師 武井完雄氏
- 費用 材料費 2,000円
- 申込み 11月9日(月)必着
往復ハガキに講習会名、住所、氏名、電話番号、希望日と午前・午後のどちらかを明記の上、
〒191-0016 日野市神明 2-13-1 (財)日野市環境緑化協会へ

秋の緑化月間行事に

テーマ：まちに緑と清流を！

菊花展

10月28日(水)～11月27日(金)

◆ポットマム、スプレー菊、大菊、懸崖のほか珍しい菊も展示します。日野市の花「菊」の香りいっぱいの会場へ、お誘い合わせの上おでかけください。

配布苗菊花コンテスト

10月28日(水)～11月4日(水) 市民プラザ(市庁舎前)

★小学校の部、老人クラブの部、市民一般の部に分け、それぞれ丹精込めた作品を展示します。市民の皆様へ配布した菊苗のきれいに咲いた姿をご覧ください。

表彰式

11月4日(水)午後2時～ 市民プラザ(市庁舎前)

★コンテスト参加作品のうち日野市長賞、協会理事長賞等36点を表彰します。

古典菊、大菊の展示

10月28日(水)～11月27日(金) 市民ホール(市役所1階)

★中菊の肥後菊、嵯峨菊、江戸菊等めずらしい菊や大菊約100点を展示します。

菊友会菊花展

10月28日(水)～11月6日(水) 市民プラザ(市庁舎前)

★菊づくりのベテランによる盆養、達磨、福助、切り花等みごとな花をご覧ください。

家庭緑化の日

11月3日(祝日)

★家庭にみどりを増やしましょう。

球根の無料配布

午前10時～ (日野中央公園のみ午後1時から配布)

★ユリ、スイセンのセットを1世帯1セット先着順に配布します。

○日野中央公園(午前10時から1,000袋、午後1時から700袋)

○東京南農業協同組合七生支店(500袋) ○旭が丘中央公園(200袋)

○市民の森スポーツ公園、平山地区センター、金田公園、万願寺8号公園(各200袋)

苗木の無料配布

午前10時～ 緑化センター(日野中央公園南側)

★ベニバナドウダン、ベニバナトキワマンサク等の苗木800本を1世帯1本先着順に配布します。

即売会

午前10時～午後3時 日野中央公園

★苗木、鉢花、園芸資材等を日野市花卉生産組合、東京南農業協同組合が販売します。また、市政図書室が「新・日野の自然ガイドブック」等を販売します。

園芸相談

午前10時～午後3時 日野中央公園

★「花とみどりの健康相談」を行います。菊、花、植木の専門家が植物の冬越しなど園芸に関するご相談をお待ちしています。

緑いっばいの町に

日野市立日野第七小学校

久保寺 翔

五年生の時、学校を通じて市の菊作りコンテストに参加し、ぼくも、はちに苗を植えた。最初は毎日見に行っていたが、次第に足が遠のき、ほとんど忘れかけていた十一月ごろ、ぼくの菊が入賞した事を知らされた。びっくりして見に行くと、なるほど見事にさいている。ぼくは世話をしなかつたことが心苦しく、それにもかかわらず見事に開花した様子を見て、複雑な心境だった。

入賞の賞品として、チューリップの球根を五球、市からいただいた。それをぼくは自宅の道路に面した小さな花壇に植え、今度はたんせいこめて育てた。冬には大雪が降り心配したが、早春にはかわいい芽を出し六年生になるころ花がさいた。なんと、それは予想に反して今までに見たことのないうすい緑色の花でとても上品で優美だった。ある日、うちの前で、電動車が

のおじさんがその花の写真を撮っていた。おじさんは散歩の途中で花を見るのを楽しみにしているそうだ。ぼくは、自分の育てた花を見て美しいと感動してくれたのがうれしく、心の中があたたかくなる思いがした。

そういうえばぼくも道を歩いていて、パンジーのあざやかに目をうばわれたり、あじさいに季節を感じたり、いちよう並木の新緑に元気づけられたりすることがある。植物には、ぼくたちの心を和ませてくれる不思議な力があるようだ。

とよく言われているが、一人一人が植物を愛する心を持ち、緑や花でいっぱい町になれば、いらいらしがちな心も、おだやかに変わってくるのではないかと思う。

私の好きな山

日野市立平山台小学校

小林 千晶

私の家の窓からは、多摩動物公園の裏山が見えます。その山は、雑木林の山なので、

衣がえをするように、季節ごとに姿を変えます。

春。山の木は、新芽をふくらませ、山全体が、銀色のようになります。その銀色の中には、ぼつぼつと、ツツジやヤマザクラのピンク色が見えます。それから日を追うごとに、緑が深くなっていきます。

夏。この季節になると、緑は一層深さを増します。たく

さんの葉っぱは風をおこします。

秋。山は緑から赤や橙色になり、紅葉がともきれいです。秋が深まるにつれ、そのきれいな葉っぱはゆっくと散り始めます。

冬。葉っぱはいつの間にかすっかり散ってしまつて、向こう側が見えるような感じになります。まるで、うすくなりかけたうちのお父さんの頭のようになります。私は冬になると、必ず、

「お父さんの頭みたい！」とからかいます。

私の家族は、みんなその山が大好きです。

ある日、お父さんが、あの山を歩いてみようと言いました。

「どこから登るか知ってるよ。」と私が言うと、すぐに話しはまとまりました。ちょうど季節は初冬でした。木は葉を落とした。道はふかふかのふとんのようでした。葉を落とした枝の間からは、私の家が見え

ました。木の上から鳥の声も聞こえました。どんどん進んでいくと、右側に、多摩動物公園の金あみが見えてきて、オラウータンや、カンガルー、コアラ館が見えました。動物園を外から見るのは初めてでした。

私は、歩いてみます。この山が好きになりました。私の近くには、平山城址公園や南平丘陵公園もあり、時々家族で散歩に行きます。こんな自然がいっぱいの山や公園をいつまでも大切に残していきたいと思えます。

周りの緑

日野市立日野第六小学校

中塚 恵美

私の家の周りは、緑で囲まれています。家では、花や野菜を育てているし、家の前には、十数本もの木が植えてあります。ほかに、道の横には、つつじがあるし、第一公園の緑がともきれいです。こんなに、家の周りには、緑がたくさんあるけど、私が一番好きな、緑がたくさんある

私達からの提案

の提案

市内の小学校6年生を対象に、作文募集「緑のまち」を実施したところ、57編の応募がありました。

「子どもたちを感動させた緑」の作文の中から、優秀賞10編、優良賞65編を審査委員の先生に選んでもらいました。今回は優秀賞5編を掲載し、残りの優秀賞は来年3月の会報に掲載します。

ところは、多摩平第二緑地で

私が好きになったきっかけは、五年生の時の、社会の勉強です。『テレビ番組を作ろう』という勉強で、私たちの班が、緑地のことを調べてテレビ番組を作りました。緑地には、たくさん木があります。それに、一番太い木は、ユリの木です。私たちが調べたのは、冬だったので、ユリの木や、いろいろな木の葉っぱが、ほとんど、落ちていたのであまりきれいではありませんでした。しかし、よく見ると、こんな寒い時でもつぼみをつけて、春の用意をしていました。木が、かれた

ようでも、冬のきびしい天候の中ちゃんと芽を出す生命が生きているのが、すごいと思いました。それからというもの、緑地の前を通る時、自然に目が木に向き、あの木はどうなっているのだろうか、いつも木の一本一本を必ず見るようになりました。春に見た時は、何本かの木に、花や、実がついていました。今の季節、夏にはものすごく葉っぱがしげっていて、とってもきれいです。こんなにきれいに木が育っているのは管理して

くれている人が、大事に管理してくれているのも五年生の勉強でわかりました。だから、この緑地やいろんな木が生えているところを通る時は、「ごくろうさま。」とか、

「もっと大きくなってね。」とかきれいな、気持ちで、通りたいたいと思うようになりました。

カラス瓜の花

日野市立日野第八小学校

田中英知

日野市はまだ自然が多く残っているといわれています。でもこのごろはそうかなと思うことがあります。僕がまだ小学校一年生くらいの時は田畑があり、ちよっとした雑木林もありました。たったの五年くらいでしょう。それだけでこんなに緑が減ると思いませんでした。

今年の夏休み、夕方僕が家でゴロゴロしていたら、祖父が「カラス瓜の花って見たことあるか。」

と聞きました。祖父の話だと、カラス瓜は夜しか花を開かず、網のような物が白い花をおおうらしいのです。暗くなるまで待って祖父と出かけました。祖父が写真を撮りたいということで、ポラロイドカメラと、

かい中電灯を持って行きました。場所は河原のやぶでちょうど花が開く所でした。花が開く所を見ていると網のよう物がだんだん広がって、広がっていくたびに花がきれいになると、稲光りがしてあつという間にどしゃぶりになってしまい急いで帰りました。カラス瓜の花を二つ持って帰って母に見せると、

「ドライフラワーになるかな。」と言いました。乾燥剤の中に入れて一週間くらいたったのを見たら網のような物が少しちぢんでしまったけれど、夜に見た花と同じに乾燥して残っていて、とても不思議な気がしました。

緑が少なくなったのは残念だけど、身近な植物にも面白い習性があることを知りました。

木や植物が生きること忘れずに、残った緑を大切にしていきたいと思えます。

イチヨウの木

日野市立日野第八小学校

宮川真理子

私のアパートの部屋の前にはイチヨウの木が立っています。生まれる前から立っています。雨の日も風の日もめげずに一生懸命立っています。「すごいなあ。」と感心しています。

イチヨウの木は四季を教えてください。冬には、葉っぱを落として寒そうです。春から夏にかけて、水々しい緑色を付け、木かげを作ってくれます。秋にはきれいな黄色に変身します。

「きれいだねえ。」とお母さんとうっとりとながめたりします。

ところが今年の五月、あんなに大きく育っていたイチヨウの葉っぱが、葉っぱを切るおじさんによって「バサッバサッ」と音を立てて地面に切り落とされました。木は寒そうです。物足りないイチヨウの木を見るとなんだかさみしい気持ちになってきます。でも木のためには必要なことなのです。

今ではさびしかった思いが希望に変わってきています。だって全部葉っぱを切られたイチヨウの木が少しずつ葉っぱをつけていくので、「うわあ。こんなに大きくなるのかなあ。」

私は毎日かさぎで見ているイチヨウの木を見て「木から自然を考えよう」と思っています。だってイチヨウの木には鳥が時々やって来てちよっと羽を休めたりして、鳥たちには都合のいい木だと思います。また私達人間も、このイチヨウの木をながめていたら心がやすらぐので鳥にとっても人間にとってもいい木なんじゃないかなと思います。

もしもこの世界に一本も木がなかったら……。考えただけでもおそろしいです。だからこの世界には自然を支えていく木が私達には絶対に必要だと思います。人間達の生活に役立っている木、見ていると心をなごませてくれる木を見て私はこれからも木を大切にしたいと思う。

みどりの写真展作品募集中

秋の緑化月間中に開催する「みどりの写真展」の作品を募集しています。

▽テーマ1「日野の四季」市内の緑や緑のある生活風景など

▽サイズ2カラープリント4ツ切り(ワイド4ツも可)

▽規定①作品は未発表のもので1人3点まで(単写真)

②作品の裏面に題名、撮影年月日・撮影場所、住所、氏名、電話番号を記入した応募票を添付してください。

▽テーマ2「わが家のみどり」

日頃かわいがっている草花や記念に植えた庭木、可愛い庭など、わが家の緑を撮った写真。

応募写真にお便りか、ちょっとした説明をそえてください。

▽サイズ3サービス判以上6ツ切りまで

※応募方法 どちらも11月6日(金)までに(財)日野市環境緑化協会(T191-0016 日野市神明2の13の1)へ持参か郵送

※応募者には記念品を進呈します。

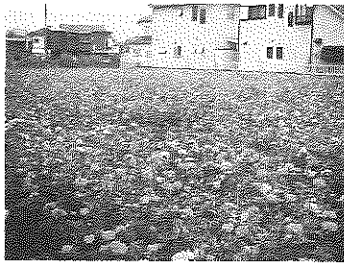
▽問合せ先 (財)日野市環境緑化協会 ☎585-4740

街角だより

9月に西平山5丁目を歩くと、畑一面の、橙色や黄色のマリーゴールドの花を見ることができます。

花は眺めるために農家の人が咲かせているわけではなく、土壌センチュウを退治するために植えているのです。

土の中にいるセンチュウは体長0.5mmで、トマト、白菜、



ニンジンなどの野菜の根にこぶを作り、栄養を奪い取っています。

新役員・評議員紹介

(任期)平成10年4月1日～平成12年3月31日 (順不同)

理事

中村 敏夫 (財)森林文化協会委員

中川 英子 (日野市緑化推進委員)

榎山 茂 (元日野市職員)

片岡 稔 (財)東京動物園協会理事

佐藤 政二 (日野の自然を守る会)

尾崎 昭男 (東京日野ライオンズクラブ)

志村 進一 (元財)日野青年会議所

宗本 昌枝 (日野市菊友会)

橋本 榮一 (東京都消費生活専門相談員)

堀之内 延吉 (元日野市職員)

監事 信和 (日野市まちづくり推進部長)

真野 保 (日野市明るい社会をつくる会)

龍崎 和義 (日野市環境緑化市民会議)

評議員 奥住 日出男 (日野市議会まちづくり建設委員会)

菅原 直志 (日野市議会まちづくり建設委員会)

宮沢 清子 (日野市議会まちづくり建設委員会)

名取 美佐子 (日野市議会まちづくり建設委員会)

秋山 薫 (日野市議会まちづくり建設委員会)

板垣 正男 (日野市議会まちづくり建設委員会)

小島 久雄 (日野市議会まちづくり建設委員会)

奥住 芳雄 (日野市農業団体連合会)

許斐 文代 (日野市小中学校長会)

杉山 寅三郎 (日野市老人クラブ連合会)

西山 正人 (財)日野市青年会議所

山内 政明 (日野市環境緑化市民会議)

山口 良枝 (主婦)

久万 美沙子 (主婦)

曾根 千鶴 (日野第一生活学校)

鈴木 美津子 (日野市民自治学園)

近藤 美津子 (日野市民自治学園)

小川 修 (富士電機(株))

はるみ (日野自動車工業(株))

「緑の募金」結果のお知らせ

今年の緑の募金は、多くの方々のご尽力により、多大な成果を上げることができました。これも自治会、老人クラブ、各事業所等の皆様の緑化に対する深いご理解とご協力によるものです。厚くお礼申し上げます。

募金総額	二七四万七千四六八円
自治会	一三万八千二二六円
老人クラブ	一八万二千二二〇円
公立学校	二万一千八二四円
私立幼稚園・保育園	四万四千七八三円
団体・事業所	九一万六千一四九円
一般・街頭募金	二九万八千九七五円
市役所機関	一四万五千三九一円

臨時職員募集

(財)日野市環境緑化協会にて働く62歳までの男性の臨時職員を募集します。

▽勤務日 平成11年4月から9月末日まで、週5日勤務

▽内容 容 公園清掃、花壇の植付け、行事の準備など

▽対象 象 ①植物に詳しい人。②運転のできる人。③健康な人。

▽募集人員 若干人

▽応募方法 12月18日(金)までに履歴書を(財)日野市環境緑化協会まで持参

編集のあとに

日野中央公園の池で7羽のカルガモの子が生まれた。側溝に逃げてピーピー泣いて助けてもらったりしたが、最後の1羽も育たなかった。